



地球環境に対する価値創造

環境経営の推進

環境保護推進体制

「環境保護活動を推進することは社会とともにある企業の社会的責任である」という考えのもと、「NTT西日本グループ地球環境憲章」を制定しています。NTT西日本の環境経営推進室とグループ各社の環境担当を通じて、NTT西日本グループ内で環境方針や環境保護対策などを展開しています。

NTT西日本グループ地球環境憲章

基本理念

人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループ地球環境憲章に則り、NTT西日本グループはグループ会社と一体になって、全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行います。

基本方針

- 法規制の遵守と社会的責任の遂行**
環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行します。
- 環境負荷の低減**
温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙などの省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努めます。
- 環境マネジメントシステムの確立と維持**
各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進します。
- 環境技術の普及**
マルチメディアサービス等の研究開発成果の積極的な社会への普及を通じて、環境負荷低減に貢献します。
- 社会支援等による貢献**
地域住民、行政等と連携し、日常的な環境保護活動への支援に努めます。
- 環境情報の公開**
環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図ります。

環境経営「Save Resource Program」

NTT西日本グループでは、地球環境保護を企業としての重要な責務として捉え、「NTT西日本グループ中期経営戦略」のもと、環境経営の推進に取り組んでいます。

この環境経営を行うために自社のみならず、社会への環境負荷低減効果の還元を目的とした「Save Resource Program」を提唱し、2007年度から下記の4つの重点的なテーマを推進しています。

- ①お客様情報機器のリユース推進
- ②ネットワーク通信設備の省電力・効率向上
- ③エコオフィスの推進
- ④環境ソリューション販売の促進

環境グランドデザイン

2009年度にNTT西日本グループは、これまでのSave Resource Programに加え、2020年度までの電力使用量削減目標を「環境グランドデザイン」として策定しました。

環境グランドデザインでは、2020年度目標達成に向けて、『レガシー系設備等のスリム化』『空調更改・効率化開発』『IP系装置の省エネ開発』『エコオフィス推進』『新技術の採用』という、5本柱を電力使用量削減の主軸として取り組みを開始しています。

(注1) 環境グランドデザインの取り組みについては、環境報告書2010をご参照ください。

関連リンク: 環境報告書2010
<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/report/2010/>

環境監査の実施

環境保護活動の状況を検証するため、環境セルフチェックと呼ぶ年1回の自己チェックと、監査部門による環境監査の2段階で監査を行っています。

環境セルフチェックでは、「法令・行政指導に関わる事項」「社内規程等に関わる事項」「その他実施すべき事項」の3つのレベルに分類し、それぞれの項目に対して、毎年適否判定を行っています。そして、不適事項が判明した場合には、改善計画書により是正を行っており、2009年度の監査結果では、軽微な指摘事項が7件ありましたが、すべて是正措置を行いました。

社員への研修

NTT西日本グループでは、全社員の環境問題への意識を高めるため、人材派遣社員を含む全社員に対して研修を行いました。

社員一人ひとりが環境問題に対する意識を高め、自ら進んで行動できるような取り組みを実施しています。

環境マネジメントシステム

NTT西日本グループでは環境マネジメント体制をより強固なものにするため、国際規格であるISO14001の認証取得を進めています。

2009年度時点で、本社2組織、42拠点(各支店・グループ会社)で取得しています。

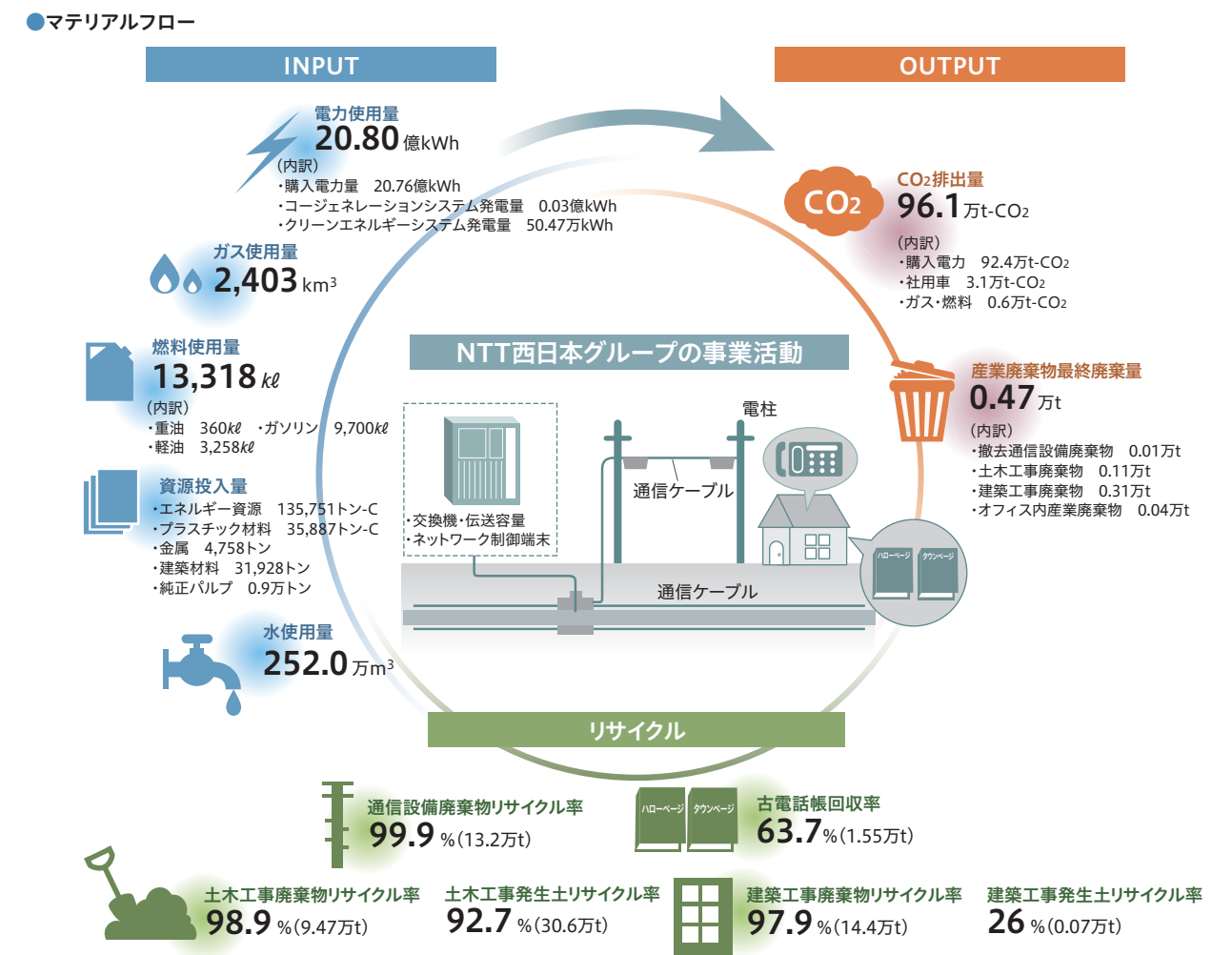
事業活動にかかわる環境負荷

西日本全域で事業を展開するNTT西日本グループは、事業規模も大きく、それだけに相当の環境負荷を与えています。

例えば、お客様の通話を可能とするためには、電話機、西日本全域に張り巡らされた通信ケーブル、および交換機などのネットワークが必要となり、それらに関する物流、工事、

運用、サービス、商品の提供といった事業活動には大きな環境負荷がともないます。

NTT西日本は、下図に示すマテリアルフローを定量的・定期的に把握し振り返ることにより、継続的な環境負荷の低減に役立てています。



Voice

私のアクションプラン

個人でできる環境活動に地道に取り組む

技術革新部 技術渉外担当 **田村 隆二**

2009年度は、鳩山首相(当時)が国連気候変動サミットにおいて、「1990年比で2020年までに25%の温室効果ガスを削減する」と宣言するなど、温室効果ガス削減に関する高い政府目標が提示されました。この政府目標達成のためには、企業努力だけでなく、

私たち個人の努力も重要であると考えています。例えば、不要な電気の消灯や、冷暖房の運転時間削減等は、私自身がすぐに取り組める内容です。地道な活動かも知れませんが、私自身が活動できる範囲を少しずつ拡大していきたいと思っています。





地球環境に対する価値創造

資源保護

自主行動計画目標(2010年度目標)

2010年度目標産業廃棄物^{*}の最終総廃棄量を1998年を基準として50%以下(3万トン以下)にする。

■ 2009年度目標

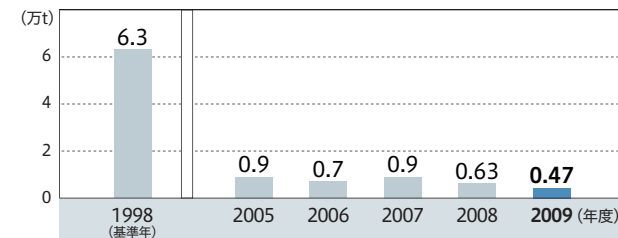
- ・撤去通信設備からの最終廃棄量を0.01万トン以下にする。
- ・土木工事廃棄物からの最終廃棄量を0.02万トン以下にする。
- ・建築工事廃棄物の再資源化率を96%以上にする。
- ・オフィス内産業廃棄物の最終廃棄量を0.24万トン以下にする。

■ 2009年度実績

2009年度の産業廃棄物最終廃棄量は、下記図1に示すとおり、0.47万tとなり、2009年度目標を達成しました。

- ・土木工事については目標を下回りましたが、その原因は再資源化が困難ながれき・汚泥の大量発生によるものです。
- ・撤去通信設備の最終廃棄量は、0.01万トンとなりました。
- ・土木工事の最終廃棄量は、0.11万トンとなりました。
- ・建築工事廃棄物の再資源化率は、97.9%以上となりました。
- ・オフィス内産業廃棄物の最終廃棄量は0.04万トンとなりました。

●図1 産業廃棄物の最終廃棄量の推移



^{*}産業廃棄物には、撤去通信設備廃棄物、土木工事廃棄物、建築工事廃棄物、オフィス内産業廃棄物が含まれています。

お客様情報機器のリユース

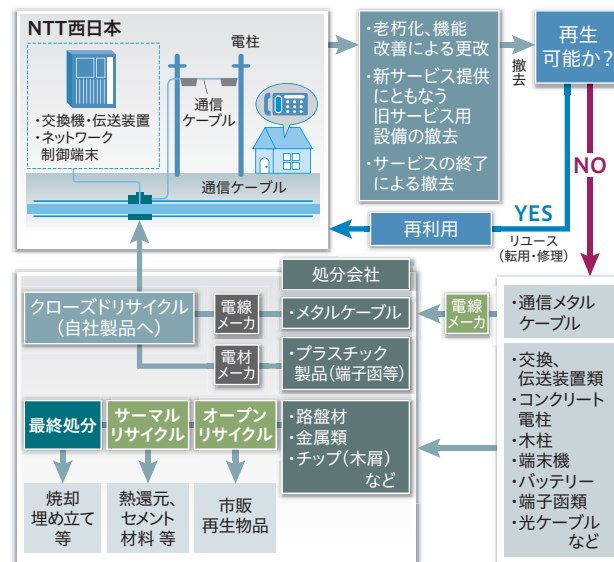
NTT西日本が提供するネットワークサービスでは、さまざまな情報機器(ONU、CTU、VDSL、VoIPアダプタ、ADSLモデムなど)がお客様の事業所や自宅で利用されています。ブロードバンド環境の普及にともない、それらの機器数は飛躍的に増加し、同時にお客様ニーズに合わせ高速化・多様化が進んでいます。その結果、サービス自体の需要サイクルが短命になり、サービスに付随する機器が利用される期間も短くなっています。そうした状況を受け、NTT西日本グループが提供するネットワークサービスに使用する機器のリユース推進を強化しています。2009年度は134万台の情報機器をリユースしました。

撤去通信設備に関する廃棄物

NTT西日本グループは、お客様へ電気通信設備サービスを提供するため、通信ケーブルや交換機などさまざまな設備や機器を使用しています。これらは耐用年数の経過、業務改善およびブロードバンドをはじめとした新サービスの提供などによる設備更改の際に撤去が必要となります。

NTT西日本グループでは、この撤去通信設備のリサイクルを積極的に推進しています。2009年度に排出された撤去通信設備の総廃棄量は13.20万トンに上りますが、このうち再資源として約13.19万トンのリサイクルし、残りの0.01万トンを廃棄物として委託処分しました。これにより、撤去された撤去通信設備のリサイクル率は99.9%を達成しました。(図2、図3)

●図2 撤去通信設備の撤去から処理までのフロー



●図3 撤去通信設備リサイクル実施状況

排出物の品目	主なリサイクル用途	リサイクル実施率
通信ケーブル	再生メタルケーブル・再生光ケーブル外被	100.0%
交換機等所内系設備	擬木、建設資材、セメント原料、燃料	96.8%
コンクリート電柱	金属材、建設資材	99.9%
木柱	路盤材、金属材	100.0%
端末機等	角材、板、チップ、燃料	100.0%
バッテリー	金属材、擬木、建設資材、燃料	99.5%
	再生バッテリー	99.1%

地球温暖化防止

自主行動計画目標(2010年度目標)

2000年度を基準として、契約数あたりのCO₂排出量原単位を15%以上削減する。

■ 2009年度目標

CO₂排出量原単位を2000年度以下にする。

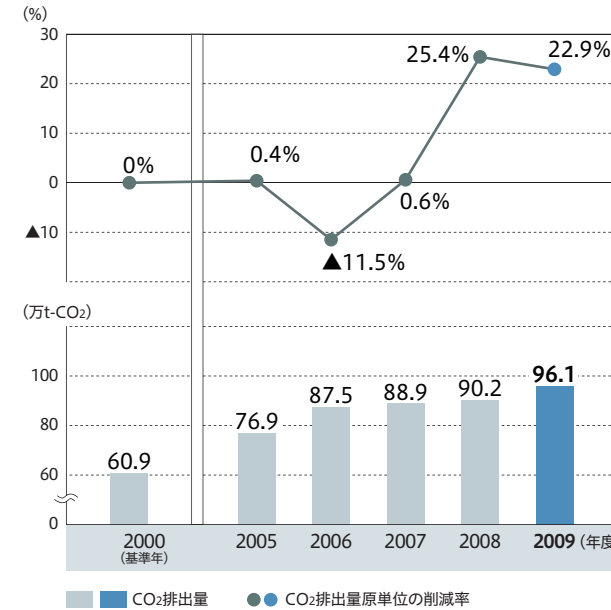
■ 2009年度実績

2009年度のCO₂排出量原単位は、下記図1に示す通り、22.9%となり、2009年度目標を達成しました。しかしながら、CO₂排出量は増加傾向である事から、さらなる取り組みの強化を進めていきます。

全社的な電消費量削減活動

NTT西日本グループでは、環境グランドデザインで掲げた電力使用量削減の取り組みを推進しています。ここでは、環境グランドデザインの一環であるTPR運動についてご紹介します。TPR運動は、ICTサービスの拡大にともない、ネットワーク接続の長時間化や大容量化にともない増加するエネルギー消費量抑制に向けたトータルの削減運動です。

●図1 CO₂総排出量およびCO₂排出量原単位削減率の推移



^{*}電力使用量のCO₂排出係数について
 ・2004年度までは電気事業連合会発表の係数を使用しています。
 ・2005年度は2004年度の係数を使用しています。
 ・2006年度以降は「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づいた各電力会社別の係数を使用しています。

TPR(トータルパワー革命)運動

1. クリーンエネルギー導入推進(太陽光発電システム、風力発電システム等)

発電時にCO₂を排出しないクリーンエネルギーシステム導入施策の一環として、太陽光発電システムなどの導入を積極的に推進しています。西日本エリア全体で61の設備を導入しており、年間504.74MWhを発電しました。(2010年3月現在)(図2)



図2 NTT西日本 京都支店深草別館屋上のソーラーシステム

2. 高効率設備の導入による低消費電力化の推進

既存設備で使用する電力において、デジタル交換機が使用する電力量の割合は大きく、省エネタイプの交換機への更改を計画的に進めています。2009年度は102ユニットの更改を行いました。(図3)

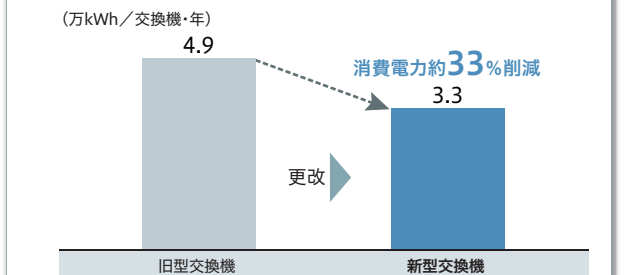


図3 高効率設備導入による効果

3. 省エネ診断書の活用による取り組みの促進

省エネ施策の取り組み促進を目的に「効果の高い施策」や「すぐの実施できる施策」を取りまとめた省エネ診断書を作成し、各エリアに展開しました。加えて、重点取り組み施策・独自展開施策・活動進捗状況については、「見える化」により、取り組み効果を確認しながら推進を図りました。

- ポイント1 電気代カットにつながる施策として「効果の高い施策」や「すぐの実施できる施策」を展開
- ポイント2 上記施策に対して各エリアでの取り組み状況を診断
- ポイント3 診断結果からさらなる実施対象の洗い出し、施策の早期着手を行い取り組みの促進を実施

地球環境に対する価値創造

エコオフィスの推進

NTT西日本では、自らの事業活動拠点を環境負荷の少ない「エコオフィス」にするための活動に取り組んでいます。

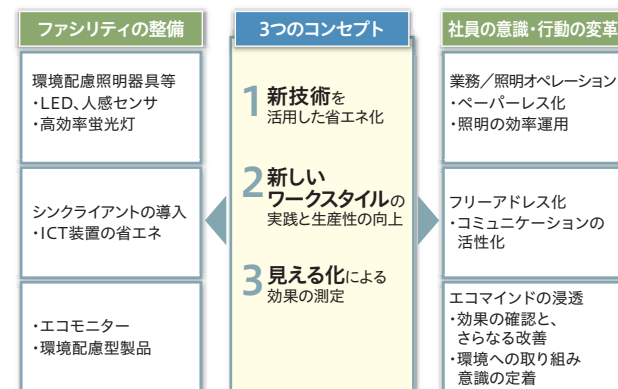
この取り組みの一環として、「エコオフィストライアル」をNTT西日本兵庫支店神戸中央ビルにて開始しました(実施期間：2009年12月1日～2011年3月31日)。

同トライアル実施にあたっては、3つのコンセプトを定め、取り組みを推進しています。(図1)

3つのコンセプトとは、i) 新技術を活用した省エネ化、ii) 新しいワークスタイルの実践と生産性の向上、iii) 見える化による効果の測定です。これらのコンセプトのもと、照明・PCの電力使用量50%削減、紙使用量30%削減を目標に掲げ、「ファシリティの整備(ハード面)」と、「社員の意識・行動の変革(ソフト面)」の2つの側面から施策を展開しています。

「ファシリティの整備」として、LEDタスクアンビエント照明※1(写真1)付きデスクを導入することによって、すべての従来型蛍光灯を廃止し、執務エリアには補助的に一部LEDダウンライトを導入するとともに、常時照明を使用する必要がない会議スペースなどにおいては、高効率蛍光灯と人感センサーや照度センサーを組み合わせ導入しました。またPCについては、従来のデスクトップ型PCから、より消費電力の小さいシンククライアント※2端末に切り替えました。さらに、これら取り組みの省エネ効果を視える化するために、照明、コンセント、空調の分電盤に47個の電力センサを設置し、リアルタイムで消費電力をモニターできる設備を導入しています。

●図1 3つのコンセプト



2つ目の施策である「社員の意識・行動の変革」として、スイッチ付き電源タップの活用によるこまめな待機電力の削減や、シンククライアント(写真2)の持つホットデスクング機能※3を活用したペーパーレス会議の実施、オフィスのフリーアドレス化※4によるコミュニケーションの活性化を推進しています。

その結果、「エコオフィストライアル」を実施している職場で働く社員からは、エコに対する意識が変わったとの声が出ています。環境に配慮した職場で働くことによって、社員のエコに関する自覚が芽生え、不要な電気を消すなど、自主的な活動にもつながっています。

- ※1 タスクアンビエント照明
タスク(机上面)照明として局部的に作業面を明るく照明し、アンビエント(周囲環境)照明として控えめの照度で室内全般を照明する方法
- ※2 シンククライアント端末
社員が使う端末に最低限の機能しか持たせず、サーバ側でアプリケーションやファイル等を管理するシステムの総称
- ※3 ホットデスクング機能
移動先のどこでも利用者のデスクトップ環境を再現できる機能
- ※4 フリーアドレス化
座席を決めずに業務を行うスタイル

●写真1 新たに設置した照明の外観



●写真2 シンククライアントを活用したペーパーレス会議



自然保護に向けた活動

びわ湖岸でのヨシ刈り

NTT西日本滋賀支店では1990年度からびわ湖の水質浄化や生物を豊かに育むなどさまざまな機能を持つヨシ帯を保全することを目的に、社員、社員家族および退職者の方が参加しヨシ刈りに継続的に取り組んでいます。今年は2009年1月31日に約70名が参加し「雄琴アクティバヨシ帯(大津市)」を寒い中ではありましたが地域の市民団体および行政のご協力のもと、実施しました。なお、刈りとられたヨシは「琵琶湖開きの日(3/13)」に大津市内7地域の水辺でヨシたいまつとして一斉に点火されるほか、小学校等において「ヨシ紙づくり」「ヨシ笛づくり」に利用され、ヨシ保全の啓発材料としても利用されています。



ヨシ刈りに参加した社員たち

「輝きの森」で間伐・下草刈り作業

2009年10月24日、和歌山地域のNTT西日本グループ各社の社員とその家族が67名参加し、田辺市龍神村にある『輝きの森』のヒノキの山林の間伐および下草刈りを、地元の森林組合の方々から指導と協力を得ながら、実施しました。

これを受け、和歌山県より、森林保全等環境保全に貢献していることを認証する認証書を受賞しました。



森林保全等環境保全の認証書

エコ通勤促進協定

2010年3月15日、NTT西日本-北陸は、地元「金沢市」様の要請に応え「エコ通勤促進協定」を締結しました。(協定締結第1号)

NTT西日本-北陸では、従来より、NTTノーマイカーeco運動の推進やNTTノーマイカーデーの設定に取り組んできましたが、今回「エコ通勤促進協定」を締結することで、さらにeco活動の推進をめざします。

通勤手段をマイカーから公共交通機関などに転換することにより、CO₂排出量の削減(地球環境保護)や社員の健康と安全をめざしエコ通勤に取り組んでいます。



エコ通勤促進協定の締結書

地域と連携した清掃活動

NTT西日本岡山グループでは、地域の清掃ボランティアグループの取り組みに賛同し、観光地「岡山城・後樂園」の傍を流れる旭川の清掃活動に、毎年2回120名程度で参加しています。

この活動には地元企業をはじめ多くの市民が参加しており、NTT西日本グループも地域密着企業として、今後も積極的に参加していきたいと考えています。



旭川の清掃活動の様子

地球環境に対する価値創造

拠点名		活動状況(2009年度)
1	本 社	クリーンおおさか2009、なにわ八百八橋「橋洗い」
2	大 阪 支 店	クリーンおおさか2009、事業所周辺の清掃活動
3	大阪東支店	クリーンおおさか2009、八尾をきれいにする運動、事業所周辺の清掃活動
4	大阪南支店	クリーンおおさか2009、阿波座南公園清掃活動、事業所周辺の清掃活動
5	和歌山支店	田辺湾クリーン作戦、和歌山市一万人大清掃、紀の川一斉清掃活動、事業所周辺の清掃活動
6	京 都 支 店	世界の京都・まちの美化市民総行動、電柱違反広告物除去作業、事業所周辺の清掃活動
7	奈 良 支 店	2009クリーンアップならキャンペーン、事業所周辺の清掃活動
8	滋 賀 支 店	びわ湖の日一斉清掃に参加、事業所周辺の清掃活動
9	兵 庫 支 店	神戸市道路美化デー、旧居留地クリーン作戦、姫路市まちの美化運動、姫路城公園近辺清掃活動、事業所周辺清掃活動
10	名古屋支店	事業所周辺の清掃活動
11	静 岡 支 店	浜名湖クリーン作戦、フェスタ・コスタ・デル・ゴミin千本浜、富士山一斉清掃、安倍川流木クリーンまつり、事業所周辺の清掃活動
12	岐 阜 支 店	長良川を美しくしよう運動、岐阜公園清掃、事業所周辺の清掃活動
13	三 重 支 店	津阿漕浦海岸清掃活動、事業所周辺の清掃活動
14	金 沢 支 店	クリーンビーチ石川、事業所周辺の清掃活動
15	富 山 支 店	クリーンキャンペーンin岩瀬浜、「道の日」合同クリーン作戦、事業所周辺の清掃活動
16	福 井 支 店	クリーンアップ福井、事業所周辺の清掃活動
17	広 島 支 店	ごみゼロ・クリーンウォーク、「ひろえば街が好きになる運動」inひろしまフラワーフェスティバル、ひろしま男子駅伝清掃ボランティア、太田川クリーン作戦
18	島 根 支 店	宍道湖・中海一斉清掃活動、松江水郷祭早朝清掃活動、事業所周辺の清掃活動
19	岡 山 支 店	旭川流域一斉清掃活動、道の日一斉清掃活動、電信電話記念日一斉清掃活動
20	鳥 取 支 店	鳥取砂丘一斉清掃活動、大山一斉清掃活動、電信電話記念日一斉清掃活動
21	山 口 支 店	「熊野公園里山づくり」参加、「NTTの森」火の山公園内草刈り活動、維新百年記念公園清掃ボランティア活動、下関美化美化大作戦、事業所周辺の清掃活動
22	愛 媛 支 店	松山市民大清掃活動、松山市道後公園一斉清掃活動、「美しいまちづくり重点地区クリーンアップ」(ボランティア清掃)
23	香 川 支 店	環境クリーン作戦、香川さわやかロード清掃活動
24	徳 島 支 店	09日本列島クリーン大作戦、「徳島マラソン」開催事前清掃活動、吉野川河川敷清掃活動、ボランティアサポートプログラム(国道清掃活動)
25	高 知 支 店	あったか高知。秋のおもてなし一斉清掃、地球33番地モニュメント周辺河川敷清掃活動、環境美化重点地域早朝一斉清掃、南国土佐観光びらき清掃、土佐の「おきゃく」2010クリーンアップ、帯屋町コミュニティの花壇花植え
26	福 岡 支 店	環境クリーン作戦(福岡市、久留米市)、事業所周辺の清掃活動
27	北九州支店	環境クリーン作戦、遠賀川河川敷清掃活動
28	佐 賀 支 店	環境クリーン作戦、佐賀市内河川清掃
29	長 崎 支 店	環境クリーン作戦、事業所周辺の清掃活動
30	熊 本 支 店	熊本市ふれあい美化ボランティア、環境クリーン作戦
31	大 分 支 店	環境クリーン作戦、竹田市岡城跡「美しい里山づくり」参加、事業所周辺の清掃活動
32	鹿児島支店	環境クリーン作戦(平成22年5月22日実施)
33	宮 崎 支 店	環境クリーン作戦、事業所周辺の清掃活動、市街地活性化にともなう花いっぱい運動への参加(事業所まわり)
34	沖 縄 支 店	環境クリーン作戦、ALL OKINAWAクリーンキャンペーン